

Power to the Children 2017 in Otsu

生きづらさを抱える人の伴走を考える

「自分を虐待した親を、愛せなくてもいい」

そんなメッセージを発信し、「家族神話」を崩壊させ 1997 年に話題になった『日本一醜い親への手紙』(右上の画像)。

20 年後の今年、新たに公募が行われ、親から虐待された 100 人の手紙を収録した『日本一醜い親への手紙 そんな親なら捨てちゃえば?』(Create Media 編/dZERO 刊)が 10 月上旬に出版されます。

そこで、この本を編集したライターの今一生さんの講演会を開催。講演の後、虐待防止について参加者のみなさんとトークセッションを行い、今後の解決策を探ります。

生きづらさを抱える方の声を受けとめる伴走者を増やす仕組みや、活動団体の取り組みを知るきっかけづくりになればと思います。

- 日時:10月8日(日)
講演会/午前12時30分~午後1時30分
トークセッション/午後2時~4時
- 場所:明日都浜大津 1F
大津市市民活動センター(浜大津駅より徒歩3分)
前半:大会議室/後半:交流スペース
* 駐車場は明日都浜大津または浜大津公共駐車場、民間の駐車場をご利用ください(有料)
- 入場料:学生 500 円 一般 1500 円
※中学生以下無料。定員 40 名(メール予約順)
※入場者のみ今一生さんのオフ会に参加できます
※2017 年版「親への手紙」の販売。もれなくサイン
- お問合せ: otsu2017

bi-kitano@outlook.com

- 関連書籍:

letters-to-parents.blogspot.jp

